

【仮想および複合現実環境向けの多層デジタル資産アーキテクチャ】 Nike

① 要約:

この発明は、ナイキがデジタル領域において積極的に特許を取得していることを示しています。発明には、NFT を活用したデジタルシューズやアパレルの新しい形態、およびメタバース内での広告やスポンサーシップ活動に関連する技術やアイデアが含まれています。

②目的:

ナイキの目的は、デジタル領域でのビジネス展開を通じて、現実世界のシューズやアパレルの魅力を高め、売り上げを増やすことです。特許技術やアイデアを活用して、新しいデジタル製品や広告手法を開発し、顧客の興味を引き、購買意欲を高めることを目指しています。

② 新規性:

この発明は、NFT を活用したデジタルシューズやアパレルの提供方法、メタバース内での広告やスポンサーシップの実施方法に関する新しいアイデアを含んでいます。これにより、顧客はデジタル空間でユニークなアイテムを購入し、自身のアバターに着せたり、広告を表示させたりすることができます。

④独自性:

ナイキは、デジタル領域における特許技術やアイデアを積極的に開発しており、競合他社との差別化を図っています。特に、NFT やメタバースといった最先端の技術を活用し、他社にはない独自の商品やサービスを提供することで、顧客の関心を引き付けています。

⑥ 経済価値:

この発明により、ナイキはデジタル領域でのビジネス拡大と収益増加を見込んでいます。デジタルシューズやアパレルの提供、メタバース内での広告やスポンサーシップ活動によって、新たな収益源を生み出すことができます。また、特許技術やアイデアの独自性により、ナイキは競合他社に先駆けて市場に参入し、競争力を維持・強化することができます。